

17 ラオス

ナムルック水力発電所建設事業



本事業により建設されたナムルック水力発電所

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	3,903百万円 / 3,902百万円
借 款 契 約 調 印	1996年10月
借 款 契 約 条 件	金利1.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2001年12月

[事 業 概 要]

既存ナム・グム貯水池の南東側に隣接するナム・ルック川に水力発電所を建設し、国内の電力供給体制を強化するとともにタイ等への売電により外貨獲得を増大させようとするもの。

[評 価 結 果]

本事業は、アジア開発銀行との協調融資による支援であり、ダム、発電所(60MW)、送電線(85km)が建設された。2000年度、2001年度における本発電所の年間電力量はそれぞれ263GWh、237GWhであり、いずれも計画値を上回った。本事業を実施しなかった場合、2001年にはラオス全体においてピーク電力の供給不足が発生していたと想定されており、本事業は電力供給体制の強化に貢献していると言える。外貨獲得の面では、ラオス国内の電力需要が急速に増加し、輸出にまわす余剰電力が減少したため、国全体では外貨獲得額の大幅な増加は見られていない。

本事業実施機関のオーナーシップの高さは、運転・保守や住民との協力関係構築に良い影響を与えている。また、本事業実施に当たって環境保全対策と補償が極めて木目細かく実施された。他方、今後事業の持続性を確保するためには、実施機関の財務改善が課題となっている。